ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

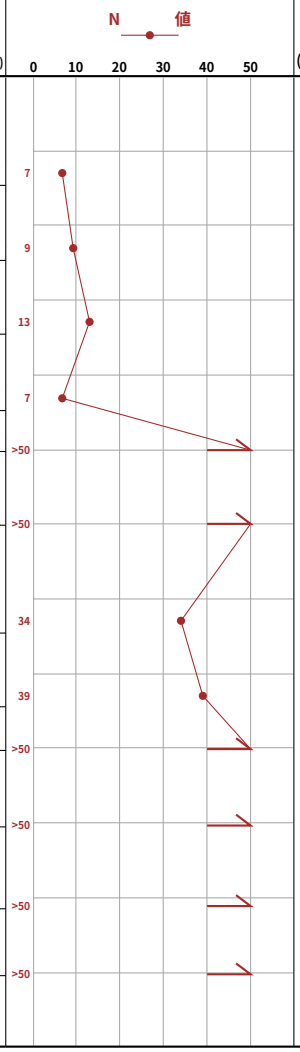
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-2	調査位置				北　緯	36 ° 45 ' 40.0000 "
発 注 機 関	栃木県矢板土木事務所 河川砂防部			調査期間	2008-09-30 ～ 2008-10-03	東　経	139 ° 50 ' 21.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	272.87 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.04 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	272.32	0.55	0.55		シルト (M)	暗褐		軟らかい	植生根・腐植物混入 含水比上位・粘性中位 径φ100mm前後の風化礫散在		10/03 2.01
1					礫混じり砂質粘土 (CHS-G)	灰茶褐～紫灰褐～暗茶褐		中位	径φ10～30mm程度の風化礫混入 希に径φ100mm位の粗石混入 含水比・粘性上位 所々で礫の混入や中～粗砂分多くなり不均質		
2											
3											
4											
5	267.92	4.40	4.95		玉石 (B)	乳灰	非常に密な		凝灰岩の巨石 全体的に風化し、クラック多い クラック面は茶褐色になる		
6	266.37	1.55	6.50								
7					礫混じり砂質粘土 (CHS-G)	灰茶褐		固結した	径φ10～30mm程度の風化礫混入 希に径φ100mm位の粗石混入 所々で粘土分や砂分多くなり不均質 8.50m付近固結状		
8	264.22	2.15	8.65								
9					風化岩 (WR)	暗褐灰～茶灰～暗褐			溶結凝灰岩 風化著しくクラックが発達 土砂状～短柱状 コア採取率 70～80%，RQD0～10%		
10											
11											
12	260.83	3.39	12.04								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2/11	2	3	7/31	7
1.46					
2.15	3	3/11	4/11	10/32	9
2.47					
3.15	3	4	6	13/30	13
3.45					
4.15	2	2/11	3/11	7/32	7
4.47	50/2			50/2	>50
5.00					
5.02					
6.00	50/1			50/1	>50
6.01					
7.15	7	8	19	34/30	34
7.45					
8.15	20	9	10	39/30	39
8.45					
9.00	50/3			50/3	>50
9.03					
10.02	50/3			50/3	>50
10.05					
11.10	50/5			50/5	>50
11.15					
12.01	50/3			50/3	>50
12.04					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/30
						10/01
						10/02
						10/03